



大阪府立大学大学院生命環境科学研究科学術報告投稿規程．執筆要領

引用	Scientific report of the Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University. 2009, 60
その他のタイトル	Editorial Board. Instructions for Authors
URL	http://hdl.handle.net/10466/8953

Instructions for Authors 執筆要領

I. 欧文原稿の作成方法

(原著論文 original paper 及びその他の記事)

1. A 4 版 (210mm×297mm) またはこれに近い大きさのタイプ用紙に、ダブルスペースで印字する。用紙の周囲に約 3 cm の余白を残す。
2. 原稿の第 1 ページには、論文題名、著者名、所属を記載し、下端に Running Title (奇数ページの上に見出しとして印刷される) を以下のように記載する。
 - A) 論文題名：冠詞、前置詞、接続詞を除く語の頭文字を大文字とする (学名など規定のある場合を除く)。第○報の場合には、1, 2, 3 のようにする。
記載例：
The Waltzing Mutant in the Shrew (*Suncus murinus*, Insectivora) Characterized by the Circling and Head-Shaking Behaviors 1. Inheritance and Breeding.
 - B) 著者名：名、姓の順 (外国人が著者の場合はその国の習慣に従う) にローマ字で表記する。著者が 2 名の場合は “and” でつなぎ、3 名以上の場合は最後の著者以外を “,” でつなぎ、最後の著者を “and” でつなぐ。
記載例：
Ichiro Kawasaki and Jiro Yamada (著者が 2 名の場合)
Ichiro Kawasaki, Jiro Yamada and Saburo Ogawa (著者が 3 名以上の場合)
 - C) 所属研究室 (研究グループ) 名：Laboratory of …, Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University の形式で記載する。
 - D) Running Title：著者名は姓のみを記し、著者が 3 名以上の場合には第 1 著名のみを記して、第 2 著者以下を *et al.* で表す。略表題は 50 文字以内とし、第○報は 1, 2… のように記し、副題はつけない。
記載例：
H. Kawasaki *et al.*: Waltzing Behavioral Mutant of *Suncus murinus*-1
3. 原稿の第 2 ページには、原著論文の場合には 250 語以内、総説、学位請求論文の場合には 1,000 語程度の英文 Abstract を記載する。短報および資料では Abstract を省略できる。
4. 本文は第 3 ページからタイプする。本文中の引用文献は、適切な個所に、(Yamaguchi, 1995), (Abe *et al.*, 1995a; Yamaguchi and Mochioka, 1996) のように記入する。
5. 図・表の表題は Fig 1. Location of … および Table 2. Various cultivars of … のように記入し、図の表題は図の下に、表の表題は表の上に記載する。注や説明は図、表ともに図表の下に記す。
図は白色ケント紙、淡青色の方眼紙またはトレーシングペーパー (白色の台紙をつける) を用い、墨入れを行う。記入する文字、符号は鉛筆書きでよい。図の縮小率 (長さ) を特に希望する場合は

欄外に赤字で記す。

図表の挿入場所は本文の該当場所の右欄外に赤字で明記する。

6. 引用文献 (References) は著者名をアルファベット順に配列し、次の例にならって記載する。著者名、表題、誌名 (書名) とも省略しない。
記載例：
Oda M., Dosai M., Ikeda H., and Furukawa H. 2002. Causes of low survival in cucumber (*Cucumis sativus* L.) plants grafted onto pumpkin (*Cucurbita moschata* Duch.) rootstocks by horizontal-cut grafting at the center of the hypocotyl. *Sci. Rep. Grad. Agric. Sch. Biol. Sci., Osaka Pref. Univ.*, **53**, 1-6. (in Japanese) (一般論文の引用例)
Snedecor G. W. 1961. *Statistical Methods*. Iowa State Univ. Press, Iowa, p.13. (単行本の 1 ページのみを引用した例)
Tanaka T. 1977. *Nogyo Mondai*. Fudaisha Sakai, 215pp. (in Japanese) (単行本全体を参考にした例)
Hendricks S. B. and Bortwhick H. A. 1963. Control of plant growth by light. *In* “Environmental Control of Plant Growth” (ed. Evans L.T.). Academic Press, New York, 233-264. (編集者の有る本の 1 章を引用した例)
7. その他、原稿のスタイルとレイアウトについては、最新の号を参照すること。

II. 和文原稿の作成方法

1. ワードプロセッサを用いて A 4 版横書き原稿用紙に明朝体で記載する。
2. 記述は新かなづかいに従い、学術用語以外は原則として当用漢字を用いる。句読点は「, 。」を用いる。外国語は片仮名を用い、人名その他でローマ字を記入する場合はローマン体 (普通の活字体) を用いる。動植物などの学名はイタリック体指定とし、和名は片仮名書きとする。
3. 原稿の第 1 ページには論文題名、著者名、所属 (連絡先) ならびにそれらの英訳を記載し、下端に簡略表題 Running Title を記す。英訳および簡略表題の記載は英文原稿の作成方法に従う。
4. 原稿の第 2 ページ以降には、摘要 (末尾にキーワードをつける)、英文 Abstract (末尾に Key Words をつける)、目次、本文の順にそれぞれ改ページして記載する。
5. 図・表および欧文の引用文献は、欧文原稿の作成方法に従って記載する。和文の引用文献の記載は、下記の例に準じる。

記載例：

白河紀男 1970. 除草剤 CMMP に関する研究 (第 4 報). 特に作用機作について. *園学雑*, 38, 193-201.
平井篤造・鈴木直治 1963. 植物病理の生化学 (後編). *農業技術協会*, 155-180.